

ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会 マラソン日本代表選手選考方針

1. 編成方針

世界に通用するマラソン選手育成のため、国際競技会において勝負するための要素である、「勝負強さ」と「スピード」を有する競技者を選出し、本大会での入賞を目指す。

2. 開催地

ブダペスト(ハンガリー)

3. 開催期間

2023年8月19日(土)～27日(日)

4. 選考基準

ワールドアスレティックス(以下、WA)が定める参加資格を有効期間中に満たした競技者の中から、編成方針に基づき、以下の優先順位により、日本代表選手を選考する。

(1) JMCシリーズⅡのチャンピオン(第106回日本選手権者)

(2) 選考競技会、および、WAエリートプラチナラベルレース(国内競技会を除く)において派遣設定記録を突破した競技者から、各競技会での記録、順位、レース展開、タイム差、気象条件等を総合的に勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者をWAの定める出場可能人数に達するまで選考する。
また、対象期間は2022年7月～2023年3月に開催された競技会とするが、2023年の競技日程が確定したのち最終対象競技会については改めて定める。

(3) 選考基準(2)を満たす競技者がいない場合、または選考基準(1)(2)を満たす競技者が辞退した場合、マラソングランドチャンピオンシップ(以下、MGC)の出場資格を有するJMCシリーズⅡの上位者からWAの定める出場可能人数に達するまで選考する。

※2022年WAエリートプラチナラベルレースは以下URL参照

<https://www.worldathletics.org/competitions/world-athletics-label-road-races/calendar-results?competitionSubgroupId=3943>

5. 選考競技会

Japan Marathon Championship Series(以下、JMCシリーズ)の第2期加盟大会のうち、グレード1に指定された下記の競技会を選考競技会とする。

(1) 男子

北海道マラソン2022

福岡国際マラソン 2022(*2022年7月7日追加)

第53回防府読売マラソン大会(*2022年7月7日追加)

第71回別府大分毎日マラソン大会(*2022年8月4日追加)

大阪マラソン2023(*2022年8月4日追加)

東京マラソン2023(*2022年8月4日追加)

(2) 女子

北海道マラソン2022

第42回大阪国際女子マラソン大会(*2022年8月4日追加)

東京マラソン2023(*2022年8月4日追加)

名古屋ウィメンズマラソン2023(*2022年8月4日追加)

※JMCシリーズ第2期 :2022年度に開催される競技会
JMCシリーズⅡ :第1期(2021年度)～第2期(2022年度)に開催される競技会

6. 資格記録

(1) 参加標準記録

WAが定める下記の記録(WAからのQualifying system and entry standardsが発表され次第更新する)。

- ・男子: 2時間09分40秒
- ・女子: 2時間28分00秒

(2) 派遣設定記録(WAスコアリングテーブル1200ポイント相当)

本連盟が定める下記の記録。派遣設定記録の有効期間は2022年7月1日から選考競技会、および、WAエリートプラチナラベルレース(国内競技会を除く)の最終対象大会実施日までとする。

- ・男子:2時間07分39秒
- ・女子:2時間23分18秒

※スコアリングテーブルについては以下URL参照

<https://www.worldathletics.org/about-iaaf/documents/technical-information#collapsescoreing-tables>

7. 選考方法

- (1) 選考基準(1)による選考は、JMCシリーズⅡの順位が確定次第内定とし、専務理事が承認することにより決定する。
- (2) 選考基準(2)(3)による選考は、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で選考し、理事会において決定する。

8. 補欠競技者

MGCの有資格者で、4. 選考基準で選考されなかった競技者の内JMCシリーズⅡ上位の競技者を補欠として1名
選考する場合がある。

9. その他

ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会のQualifying system and entry standardsが発表された段階で、上記の要件が出場条件に満たさない場合、選考基準を変更しなければならないため、その際は改めて理事会により承認を得る。

以上